

青森県教育委員会主催 平成26年度グローバルな志の育成事業
「グローバルマインド育成推進事業」

黒石高校グローバルマインド育成講演会

- 1 目的 青森県教育委員会主催の平成26年度グローバルな志の育成事業「グローバルマインド育成推進事業」の一環として行い、各界で活躍している職業人の講話を通して職業観について考えさせ、進路意識の高揚を図るとともに、講師の先進的かつグローバルな発想に接することで、グローバル社会における自らの将来像について考え、「グローバル人材」の土台となる志の育成を目指す。
- 2 日時 平成26年11月13日（木）5・6校時
- 3 会場 黒石高校 第1体育館（文系）第2体育館（理系）
- 4 対象 第1学年160名 2学年199名 合計359名
- 5 講師 文系2名 理系2名 計4名
 - (1) 文系
 - ア 青森放送株式会社ラジオセンターラジオ編成制作部主事
山内千代子氏
 - イ 中林裕雄法律事務所弁護士
中林弓子氏



山内主事



中林弁護士

(2) 理系

- ア 弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座
豊木嘉一准教授
- イ 弘前大学大学院理工学研究科知能機械工学コース
藤崎和弘准教授



藤崎准教授

豊木准教授

6 生徒感想文（抜粋）

文系

今日お二人の講演を聞いて、もっと広く自分の将来を考えてみたいと思いました。そのためには、自分の興味のあることにたくさんチャレンジして、もっと、自分の可能性を広げていきたいと思いました。

私は将来保育士になろうと考えています。しかし、もう少し視野を広げて考えてみようと思います。また、友達を大切にすることが大事だというお話があったのですが、これからも友人を大切に、高校生活を楽しんで送っていきたいと思います。ありがとうございました。（1年女子）

私は、山内さんと中林さんの講演を聞いて、自分の将来なりたい職業をもう一度きちんと考えてみようと思いました。私は、公務員になりたいという漠然としたことしか考えていなかったで、そこから、更にどんな公務員になって、どんな仕事をしていきたいか深く考えてみたいと思いました。

また、一つの物事を一つの目線からだけ見るのではなく、いろいろな角度や目線から見て考えることで、自分の視野を広くしようと思いました。そうすることで、将来仕事に就いたときにも役に立っていきたく思います。これから頑張ろうと思います。（1年女子）

今回の講演を通して、僕は自分の将来の夢を色々な見方で見る方法を学びました。またその見方をすることで自分の将来の夢を変えることは悪いことではなく、むしろプラスにとらえるべきだと教わりました。今、はなやかな仕事に就いている人でも高校時代や大学時代は進路に悩み、苦しみながら現在の職種を選んだことが分かりました。

僕はこれから自分の将来に対して、いろいろな見方や、考え方をもちて進路を選択していきたいと思います。（1年男子）

私は、このグローバルマインド育成講演会に参加して、仕事に対するいくつもの選択肢があっても良いことと、その中から自分が一番やりがいのあると思った職につけたらすばらしい人生を送ることができるという言葉に強く惹かれました。

私は講演会に参加して、様々な仕事や将来の目標を立てることの大切さに関することを学ぶことができ、とても良い講演だなと思いました。また、このような講演会で様々な事を学びたいです。（1年男子）

私が今回学んだことは、一人一人の単語から想像される職業が違うということです。私がアスリートなどと連想した単語からは他の人は新聞配達などと思っていることに驚きました。また、話しを聞いていると、今の職業に就いている動機も一人一人深い理由があって、今の職業についていることがわかりすぎいと思いました。（1年男子）

私は放送部員であり、いろいろなアナウンスの基礎をかためて大会に出たいと思いました。発声や滑舌も強化したいと思います。さらにディレクターに必要な豊かな発想力も高めていきたいと思いました。アナウンサーは本当になりたい職業の一つでもあったので、いろいろと頑張っていきたいと思います。弁護士もなりたかった職業の一つでもあったため、今日の講話はとてもためになりました。法や憲法などをたくさん記憶し、今後何かあったときに役立てられるように頑張ります。（1年女子）

私は自分の将来の姿が全く想像できません。なりたい職業は決まっているのに、どうしてなのかわかりませんでした。今日の講演を聴いて、職業についての知識が足りないということが理由だったと知りました。仕事の大変さや、必要な経験など、講師のお二人は詳しく説明してくださいました。講演で学んだ「友人を大切にすること」、「グローバルな視点をもってキーワードを見付ける」ことを高校生活の中で実際にやってみて、自分の将来のイメージをふくらませたいです。そして職業についての知識の幅を広げ、これから自分が何を経験すれば立派な大人になり、仕事をうまくできるようになるのかを知り、社会に出ても恥ずかしくないような人間になりたいと思いました。講師のお二人のように、立派に働きたいです。（1年女子）

私は将来なりたいということではありませんが、弁護士という仕事に興味をもっていました。今日お話しを聞いていて、とても勉強になりました。大学に行ったあと、予備校に行くという忙しい日々を送っていたと知り驚きましたし、尊敬もしました。私はそこまで勉強をしたいと思えないので、少しは見直さなきゃなあと思いました。

今日の講演会のことを生かし、将来の夢を見直そうと思いました。今の将来の夢の他にも、いろんな職業があるので、まず勉強して慎重に決めていきたいと思います。（1年女子）

私は、社会福祉士になりたいと思っています。しかし、具体的に何をする仕事なのかはあまり分かっていませんでしたが、お二人の講演を聴いて、私は困っている人々を助けたいと強く思いました。社会福祉士の資格を取るためには大学で勉強し、さらに勉強だけではなくボランティアなどもっと外に出ていろいろ経験することが大切だと思うのでまずは、大学に入るためにしっかり勉強し、自分の進む道を築いていきたいです。（2年女子）

講演していただいた2人の講師に共通していたのは、1つの物事を深く考えすぎないで、いろいろなことをしてみるということです。山内さんはプリントでいろいろな職業があるということを知ってくれました。1つに絞らず、他の職業にも目を向けてみるのも悪くないと思いました。中林さんの高校時代は理系なのに大学は文系で今は弁護士という仕事に就いています。文系・理系にとられず、多くの仕事を探し、様々な経験を通して将来に向けて頑張ろうと思います。（2年男子）

理 系

今回の講演では、臓器移植のグローバル化についての内容も含まれていました。最初に医療についてのお話で、病気で苦しんでいる人をその苦しみから解放（和らげる）することが重要な仕事で、苦しみとしては病気そのものの痛みの他、死の恐怖や病気への恐怖などもあるとおっしゃっておりました。また、研究に取り組むことも間接的に患者のためになるのだと思いました。医療職にも、たくさんのスタッフがいて、その中で患者が守られているということを知り、恵まれていると思いました。（1年男子）

日本では医療人が少なく、特に青森県では少ないので私も看護師として早く医療に携わりたいと思った。移植にも課題がたくさんあり、まだまだ完全ではないのだという難しさとともに、興味から研究にも関わりたいと視野が広がりました。医療を行う上でも一人よがりではなく、患者さまのためにもチーム医療で活動していきたいです。

最後に、豊木医師がおっしゃった、努力は必ずしも報われなくても、寝る間も食の時間も研究や調べたいことを優先してこそ、一番ものになるというところに感銘を受け、私も高校生活を頑張ってみたいと思いました。医学に興味がある私にとって今回の講演の内容は有意義で貴重な時間でした。黒石高校に来てくださって、ありがとうございました。（1年女子）

今回の講演では、規模が少し大きくなると思うけど、今の日本に必要なのは、グローバル化、そして世界にはばたける人材を作り出すことだということが分かりました。

私は、弘前大学の理工学部地球環境学科に進学したいと考えています。将来は、建築関係の職に就きたいと思っています。

今回の講演は、自分の行きたい学科の説明ではなかったが、私にとってとてもためになったと思います。今後は、より勉強して、自分の将来をよく考えながら生活していきたいと、今回の講演で思いました。（1年男子）

私は今回の講演を聴いて医療に関わる職はやはり大変なのだと改めて思った。よく「グローバル化」という言葉を耳にするがそれは医療にも関係していることを初めて知った。アメリカやドイツは技術だけでなく制度も進んでいるので日本と比べて医療に関わる人も多い。研究もその分大がかりであると知って驚いた。私は将来の夢がまだ決まってないので今回の講演にとっても興味を持つことができました。（1年男子）

私は看護師になることが将来の夢であり、医療関係の話にはとても興味がありました。直接臓器移植をするような仕事はしなないと思いますが、詳しく知ることができて良かったです。私はドナーカードの登録をしたいです。臓器提供を待っている人が日本では特に多いのではないかと思うからです。（ぜひ登録したいです）。（1年女子）

今回の講演では、医療と工学について学びましたが、私は将来検査技師になりたいと思っているので、医療についてのお話は特に興味深かったです。臓器移植についてのお話を聞いたときは、現在に至るまでにたくさんの失敗を重ねていることがわかり、医療の道は厳しいものだと思いました。そしてメディアで多く取り上げられているにも関わらず、今までその内容まではよく知らなかった IPS 細胞についても知ることができてよかったです。工学については手先が不器用で頭を使うことが苦手な私には向いていない分野だと思いましたが、工学の知識も少し身に付けることができたのでよかったです。今回の講演を、これからの進路に生かしていきたい。（2年女子）

青森県は短命県だということですが、講演を聞いて青森県の医者は人手不足で、若い力が必要だということが分かりました。少しでも医学について興味を持つことができて良かったと思いました。

工学の講演では、エンジニアについて紹介されました。私は将来エンジニアになりたいと思っているので、とても良い体験ができたと思います。工学を学ぶにも、グローバルな観点が必要だということもよく分かりました。ありがとうございました。（2年男子）

我々人間は姿が見えなくても、何かしらの形でつながりを作ることが必要だと思った。人々が協力して足りない部分の穴を埋め、そして協力して新しいものを見出すことが必要だと思った。何かを成し遂げるには、途中には大きな困難が待ち受けていることもあると思うので、協力するのはとても大事だと思う。自分たちも、いつかは世界の舞台に出ることがあると思うので、そのための準備をしっかりと、グローバル化に乗り遅れないようにしたいと思った。国際交流から逃げずに積極的に交流していきたいと思った。（2年男子）

僕は今回の講演を聞いて、医療という職業を更に尊敬しました。

僕は大学に入学したら、柔道整復師の資格を取ろうと思っているので、講演の話にあったように、病気そのものを治すことだけが医療ではないということに関心を持つことができました。

僕は将来、患者さんやお客さんとコミュニケーションを取りつつ、心のケアもできるようになりたいと思っています。そして誰かのために活躍できるようになりたいと思います。

また、医療と工学は深く結びついていると思います。工学でも医療に貢献して行くことができるということを知り、医療に対する職業観が広がりました。（2年男子）